

2022年9月29日

各 位

株式会社三井住友銀行

ニチコン株式会社との「グリーンローン」の締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ニチコン株式会社（代表取締役会長：武田 一平）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を締結いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

ニチコングループは、2021年11月に中期成長目標「Vision 2025」を策定し、同時に、持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立を目指す「サステナビリティ方針」を定めました。この方針に基づき、より良い地球環境の実現に向け、車載関連機器向けのアルミ電解コンデンサ及びxEV（電動車）向けのフィルムコンデンサの生産体制を強化し、EVの普及拡大を支えクリーンエネルギーの拡充に貢献します。また、家庭用蓄電システム及びV2Hシステム、EV・PHV用急速充電器のラインアップを強化し、再生可能エネルギーの活用を促進することで人びとの暮らしに安心・安全かつ省エネを提供していきます。xEVに搭載されるアルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサや、電気の「家産家消」を実現する家庭用蓄電システム、EV社会のインフラを支えるEV・PHV用急速充電器は、いずれもカーボンニュートラルの取り組みに必要なキーアイテムであるとニチコングループは考えています。

本ローンで調達される資金は、ニチコン株式会社が策定した「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）で定められたグリーンプロジェクト（①EV、HVに使用されるアルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサの増産設備、②家庭においてEV車両に対する充放電をコントロールするシステム、蓄電システム及び施設や駐車場におけるEV向けの急速充電器の増産設備への投資）に充当される予定です。xEVの生産や利用のためのインフラ整備に寄与することでxEVのさらなる普及につながり、CO2排出削減効果が期待できます。これらのプロジェクトは、SDGsの「7.すべてのエネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「9.産業と技術革新の基盤を作ろう」及び「13.気候変動に具体的な対策を」の達成に資する取り組みであると位置付けられます。

本フレームワークは、国際金融業界団体のICMA（International Capital Market Association）にて策定された「グリーンボンド原則（2021年版）」、LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2021年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」との適合性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

SMBCグループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

実行日	2022年9月29日
貸付人	株式会社三井住友銀行
契約金額	20億円
契約期間	5年

(参考)

ニチコン株式会社ホームページ：

<https://www.nichicon.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。